

【船原古墳と遺物埋納坑群】 MAP 1

史跡：古墳時代 6世紀末～7世紀初め頃
平成28年10月3日指定

▶古墳と隣接する遺物埋納坑からは、豪華で多彩な馬具などが出土した。古墳は、その重要性が平成28年10月に史跡としての国指定を受けたが、出土した遺物は九州歴史資料館で調査を続けている。



▲船原古墳を西側側面から見たところ。右手が後円部で左手が前方部。埋納坑は手前の青い部分にあたる。

黄金に輝く馬具、異形の鉄器

その豪華で多彩な出土品

1号土坑▶

【ガラス装飾付金銅製辻金具】

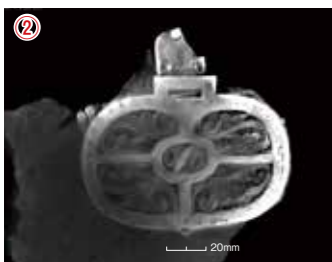
▶革ベルトの交差する部分を留める装飾品の金具。丸い飾りの部分は鉛を含むガラス製で、緑色部分はもともと金で装飾されていたことが分かった。ガラスと金で装飾された辻金具は日本で初めての発見である。



①

【忍冬唐草文心葉形鏡板付轡】

▶忍冬唐草文とは、スイカズラと呼ばれる蔓草を図案化した唐草文様である。土台になる鉄板に唐草文様を透かし彫りにした金銅板を重ね、その上に金銅製の縁金を重ねて鋳で留めたつくり。金銅製のとても豪華な轡で、奈良県の珠城山3号墳の資料によく似ている。6世紀末から7世紀初め頃、朝鮮半島から輸入された品の可能性がある。



②

【金銅製鳳凰文心葉形杏葉】

▶心葉形とは、簡単に言うとハート型である。この杏葉はハート型の地板鉄板の上に左右1対の鳳凰をかたどった透かし彫りの金銅板を重ね、さらに金銅製の縁金を重ねて鋳で留めている。鳳凰は伝説上の生き物で、古くから聖なる動物としてあがめられており、優美なデザイン性と高度な技術がうかがえる。



③

【蛇行状鉄器】

▶鞍の後ろの部分に取り付けられた^{はな}幡をさすための器具。蛇のようにくねくねした形からその名がつけられた。



⑤

馬青

馬のかぶと。6枚の鉄板を叩き出し、鋳で留めた精巧な作りである。



④

鞍

金銅で装飾されていたと考えられる。



蛇行状鉄器

幡を立てるもの。国内で十数点しか発見されていないが、船原古墳では3点も発見され、国内最多。



金銅製歩揺付飾金具

馬の背中につける装飾品で、国内では例を見ない豪華さ。(コンピュータグラフィックスで復元)



金銅製歩揺付飾金具(雲珠)

▶馬の背中につける装飾品。コンピュータグラフィックスで復元したところ、六角形の透かし入りの金属板の上に、複数の花びら型の飾り(歩揺付金具)を吊り下げた大小の支柱7点が取り付けられていた。それらが組み合わされて、幾何学的に配置された国内では例を見ない金銅製の馬具であることが分かった。



古賀市教育委員会
古賀市立歴史資料館

2017年1月

県指定文化財

【鹿部田淵遺跡】 MAP 2

考古資料：古墳時代6世紀中頃
平成21年7月31日指定
古賀市美明1丁目4番、2丁目1番外8筆



▶古墳時代6世紀中頃の大型建物群の遺構。時期・性格・所在地から磐井の乱後、筑紫君葛子が献上した「糟屋屯倉」の候補地にも挙げられている。平成22年11月、古賀市ではじめての歴史公園「みあけ史跡公園」として保存整備され、建物の柱列が復元された。



【永浦遺跡四号墳出土品一括】 MAP 3

考古資料：古墳時代5世紀頃
平成17年10月5日指定
古賀市美明3丁目12番付近（現在商業施設）
古賀市立歴史資料館蔵



▶4基からなる永浦古墳群の4号墳（古墳直径約20m）からは、甲冑を中心とした武具武器や農具などが出土した。それらは古墳時代中期の副葬品の特色が良く分かるきわめて優れた内容であり、当時の葬送儀礼を知る上で良好な考古資料である。

【馬渡・束ヶ浦遺跡墓地群出土品一括】 MAP 6

考古資料：弥生時代中期頃
平成20年3月31日指定
古賀市青柳（グリーンパーク付近）
古賀市立歴史資料館蔵

▶古賀市総合健康文化公園（グリーンパーク）に広がる墓地群のうち、弥生時代前期末から中期初め頃の大形甕棺（金海式）から副葬品として銅剣2・銅戈1・銅矛1計4本の青銅製武器が出土。また、他の甕棺から銅剣・銅釧・装身具が出土した。



【阿弥陀如来像板碑】 MAP 4

考古資料：鎌倉時代
昭和33年10月29日指定
古賀市筵内1575 熊野神社境内



▶玄武岩の自然石に阿弥陀如来像が線彫りされている。建長七（1255）年の銘あり。総高1.4m。

【薬師如来像板碑】 MAP 5

考古資料：鎌倉時代 昭和33年10月29日指定
古賀市筵内1384-5



▶薬師如来像が線彫りされ、上記の阿弥陀如来像板碑と摩滅した板碑（千手観音：個人蔵）との3基で組になる板碑ではないかと考える人もいる。昔、筵内で疫病が流行した際に大根川の岸に建てられたのが、洪水で流され、後にそれぞれ現在地に移されたという説もある。

【小山田斎宮の社叢】 MAP 8

天然記念物
昭和58年3月19日指定
古賀市小山田346



▶社叢にはブナ科スダジイとイチイガシなど多様な樹木が群生し、イチイガシの中には樹齢1000年以上、胸高周囲4m、高さ30mのものもある。

【清瀧寺のイスノキ】 MAP 7

天然記念物
昭和54年3月6日指定
古賀市薦野665



▶薬師堂への石段を登ったところにあり、樹齢約300年、胸高周囲4m、高さ20m。葉に大きな虫えい（袋状の虫こぶ）を作り、成虫が出た後の穴を吹くとヒョウヒョウと鳴る。

市指定文化財

【藤井甚太郎資料】

歴史資料：江戸時代後期～明治時代 平成26年4月23日指定
古賀市立歴史資料館蔵



▶藤井甚太郎は旧福岡藩士藤井一寛の長男として福岡市で出生。明治から昭和にかけての歴史学者で明治維新史、立憲政治史の権威である。幼少時は小野村谷山（現在の古賀市谷山）で育ち、福岡県立中学修猷館から旧制第五高等学校、東京帝国大学大学院に進学。文部省維新史料編纂会で維新史料編纂に30年余にわたり従事し、のちは大学で教鞭をとった。法政大学名誉教授。資料には学生時代の記録が中心に収められている。



【色姫の墓】 MAP 9

考古資料：戦国時代
平成2年4月27日指定
古賀市青柳



▶個人宅の敷地内にあり、「當院開基竹龍妙滑大姉 天正十二年三月二十四日」などの銘がある。色姫は宗像大宮司氏貞の妹で、人質として大友の家臣戸次（立花）道雪の側室となった。時に姫25歳、道雪57歳。

【木造阿弥陀如来座像】 MAP 11

彫刻：江戸時代
平成10年2月3日
古賀市筵内1575（熊野神社境内）



▶明治政府の神仏分離政策により一時谿雲寺境内の観音堂に遷された神仏習合の名残を示す貴重な像である。阿弥陀とは梵語のAmitayus「無限の寿命をもつもの」の意。

【十三仏板碑十三体】 MAP 12

史跡：室町時代
平成2年4月27日指定 古賀市小山田

▶個人宅の敷地内にあり、十三の板碑には不動明王・釈迦如来など十三仏が線彫りされている。



【青柳宿西構口跡】 MAP 14

史跡：江戸時代
平成15年3月31日指定
古賀市青柳町1071-6



▶江戸時代に唐津街道の宿場として成立した青柳宿の下りの宿場出入口（西構口）の遺構。構口は道路と直角に石垣を組み、その上に白壁の練り塀を築き、瓦を葺いたもので、県内では他に木屋瀬宿や山家宿などに残っている。

【鹿部山経塚出土品】 MAP 13（現在宅地）

歴史資料：平安時代
平成14年12月10日指定 古賀市立歴史資料館蔵

▶鹿部山は三峯山といわれ、三つの峯からなっていた。昭和46年冬に中の峯の経塚から石製容器に入った銅製の経筒（仏教経典を埋納する容器）と青磁の合子・皿などが発見された。経筒は直径10cm、高さ26cm、表には「筑前国席内院父々夫峯・永久元（1113）年・願主僧良意・金主吉野常元」などの銘が点刻されている。



【鹿部山皇石神社境内出土銅戈】 MAP 15

考古資料：弥生時代
平成19年2月22日指定
古賀市立歴史資料館展示

▶弥生時代の青銅製武器である。銅戈は、明治31年に神社境内から銅剣（現在は所在不明）とともに出土した。



鉢内墨書銘 頭部墨書銘

【天降神社神殿の彫刻】 MAP 10

彫刻：江戸時代
平成3年3月19日指定
古賀市薦野1863-1



▶神社はかつて古野に鎮座していたが、嘉元三（1305）年に現在地に遷されたという。薦野・米多比・舍利蔵（福津市）の産土神であった。本殿の彫刻は、手挟みの「飛天像」妻飾りの「竜」とともに見事である。

【『筵内村「掟」櫃蓋裏記載小筆筒】

歴史資料：江戸時代
平成22年1月20日指定
古賀市立歴史資料館蔵

▶この掟は、宝永八（1711）年三月、庄屋であった安武嘉市が小筆筒の蓋の内側に書き残した。「村中に耕し手のない共同耕作の田畑が多くなり、村では手に余るようになったため」協議して掟を取り決めたもので、三条からなっている。厳しい年貢に困窮した農民の姿が見えてくる貴重な資料である。



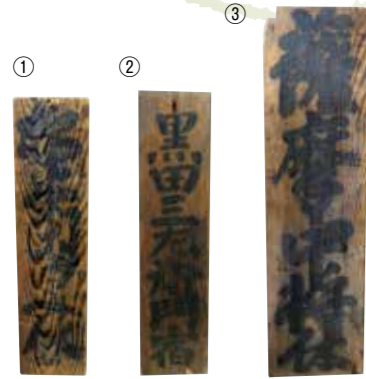
【大日如来座像】 MAP 16

彫刻：室町時代
平成2年4月27日指定 古賀市青柳2603

▶青柳寺浦の大日堂に祀られ、頭部と鉢内に墨書銘があり、「文明七（1475）年願主大神朝臣野田閑」などの文字がある。



市指定文化財 新しく市指定文化財が誕生



青柳宿下ノ町茶屋の宿札

歴史資料：江戸時代
平成29年1月16日指定
古賀市青柳町 古賀市立歴史資料館蔵

青柳宿：江戸時代、参勤交代のために、唐津街道の青柳町につくられた宿場。下ノ町茶屋であった城戸氏宅には3枚の宿札が残されていた。

①佐賀藩第10代藩主鍋島直正が隠居して閑叟と名乗った文久元年(1861)以降の可能性が有る。西洋通で蘭癖大名の異名を持ち、大規模な藩政改革を行った人物としても知られている。

②福岡藩の筆頭家老でのちは大老職を務めた三奈木黒田家の当主、幕末期の黒田一美のことと思われる。宿札は第2次長州征伐(1866年)の折、幕府の命で小倉口攻撃のために藩兵を率いて出兵し、遠賀郡底井野まで出向いたときのものであると考えられる。

③薩摩中将は、第29代薩摩藩主忠義の父で、国父と称された島津久光のことと考えられる。久光は幕末の薩摩藩の最高権力者で、公武合体を推進した人である。文久4(1864)年に左近衛中将に任命されてから後のものであろうと思われる。



▲四獣鏡

花見遺跡古墳群出土品

考古資料：古墳時代5世紀
平成29年1月16日指定

古賀市花見東5丁目 古賀市立歴史資料館蔵

▶花見遺跡では弥生時代の集落と古墳時代の5世紀代の古墳群が、約2~3mの砂層下に埋まっていた。花見古墳群では、3基の円墳が発見され、割竹形木棺に遺体を埋葬していたと考えられる。ここからは、四獣鏡、琴柱形石製品・玉類などの遺物が出土した。

琴柱形石製品

市内の寺院・神社

寺院

付：院号・宗派

 称善寺(天神) MAP 1 院号：一花山 宗派：浄土宗西山派	 泉林寺(久保) MAP 2 院号：紫雲山 宗派：浄土真宗西本願寺派	 浄土院(新原) MAP 3 院号：安楽山往生寺 宗派：浄土宗鎮西派	 託乗寺(青柳町) MAP 4 院号：到閑山 宗派：浄土真宗西本願寺派
 長泉寺(青柳) MAP 5 院号：発華山 宗派：浄土真宗西本願寺派	 谿雲寺(筵内) MAP 6 院号：圓盛山 宗派：浄土宗西山派	 医王寺(筵内) MAP 7 院号：東光山瑠璃光院 宗派：曹洞宗	 東前寺(薬王寺) MAP 8 院号：光明山 宗派：曹洞宗
 長勝禅寺(小山田) MAP 9 院号：恵日山 宗派：曹洞宗	<h2>神社</h2> <p>付：祭神</p>		
 清瀧寺(清滝) MAP 10 院号：瑠璃光山行基院 宗派：天台宗			

 若八幡宮(久保) MAP 4 祭神：仁徳天皇	 綿津見神社(庄) MAP 5 祭神：綿津見神(少童命)・彦火々出見神・豊玉姫神	 若八幡宮(今在家) MAP 6 祭神：応神天皇(品陀別天皇)	 若八幡宮(新原) MAP 7 祭神：応神天皇(品陀別天皇)・神功皇后(息長足姫命)・仁徳天皇(大鷦鷯天皇)	 須賀神社(新原) MAP 8 祭神：素盞鳴神
 小鳥神社(高田) MAP 9 祭神：素盞鳴神	 川原天満宮(川原) MAP 10 祭神：菅原神・天稚彦神・稲田姫神	 三柱神社(川原) MAP 11 祭神：保食神(稻荷様)・大山祇神(山の神)・罔象売神(水の神)	 三郎天神(小竹) MAP 12 祭神：菅原神	 五所八幡宮(青柳) MAP 13 祭神：応神天皇・神功皇后・玉依姫命・墨江三前神・保食神
 熊野神社(筵内) MAP 14 祭神：饒速日命・速玉男命・伊邪那美命・事祭男命・宇麻志麻知命	 須賀神社(筵内) MAP 15 祭神：素盞鳴尊命	 八幡宮(谷山) MAP 16 祭神：神功皇后(息長足姫命)・応神天皇(品陀別天皇)・玉依姫命	 小山田齋宮(小山田) MAP 17 祭神：天照大神(天疎向津姫神)・事代主神・健甕尊神・住吉大神・神功皇后(息長足姫命)	 愛鷹神社(谷山) MAP 18 祭神：彦火火出見尊・豊玉姫命・鵜茅草葺不合尊
 愛宕神社(薬王寺) MAP 19 祭神：大軻遇突智神	 須賀神社(米多比) MAP 20 祭神：大日貴命・素盞鳴神・稲田姫神	 白髭神社(薬王寺) MAP 21 祭神：猿田彦命・仁徳天皇(大鷦鷯天皇)	 若宮神社(薦野) MAP 22 祭神：仁徳天皇(大鷦鷯天皇)	 天降神社(薦野) MAP 23 祭神：素盞鳴尊・少彦名命・大日貴命

自然



ハマボウ

●アオイ科の落葉小高木。夏に黄色の可憐な花を咲かせる。防潮林としても利用される塩性植物で花鶴川河口に見られる。



カスミサンショウウオ

●西日本を代表する止水性サンショウウオ。両生類絶滅危惧種。清滝や米多比不入谷・興山園口などで確認されたことがある。



グンバイヒルガオ

●ヒルガオ科の多年草で海岸の砂地に生える。世界の熱帯・亜熱帯に自生。花鶴浜で確認された。



ケリ

●チドリ科の福岡県準絶滅危惧種。足が長い大型のチドリ類で雌雄同色。キリッ、ケケツと鳴く。留鳥として近畿地方以北の本州に分布。昭和62年ごろから市内での繁殖が見られた。

大根川伝説(弘法大師)

●修行中の弘法大師が、川で大根を洗う老婆に一本分けてほしいと頼んだが、老婆は邪険に断った上に、何度も頼む大師に、とうとう顔を真っ赤にして怒り出してしまった。それを悲しんだ大師が、静かに口の中で念仏を唱え、金剛杖で大地をつくると、川の水が干上がってしまった。それ以来、大根川は、その季節になると水量が減少するという。



花鶴皇石公園の弘法大師像

花鶴浜伝説(伝教大使)

●中国から帰国した伝教大使は嵐にあり、命がけで古賀の浜に打ち上げられた。翌朝、うってかわって静かな古賀の浜に立つと、そこには多くの鶴が舞っていた。その姿に魅せられ感動した大使は「快哉、花鶴のごとし」とその美しさをたたえたという。

千鳥ヶ池伝説

●明治41年席内村々是に以下のよう記述がある。「大字久保ニアリ。立花古賀磨ト云フ人ノ娘ニ、千鳥姫ト云フアリテ、父母八姫ノ幼年ノ頃死セリ。…」この姫、五人の侍女と美しい家で、誰にも会わず暮らしていた。時に垂仁天皇21年、にわかには雷鳴がとどろき大雨が降った。すると姫の家の軒に白雲が舞い降り、千鳥姫は五人の侍女とともに、天女となって東の空に舞い上がった。屋敷の跡は、池となったという。



千鳥ヶ池

伝説